

【基礎編】PDF帳票 Salesforce OPROARTSハンズオン

～本日の手順書～



全体の流れ

STEP1 レイアウトの作成

帳票デザインを作成すると共に、動的項目（Salesforce上から取得する項目）を決定します。



STEP2 マッピング

レイアウト上の動的項目と、Salesforceの項目を紐づけます。



STEP3 配備

テンプレートをOPROARTSサーバに配備します。



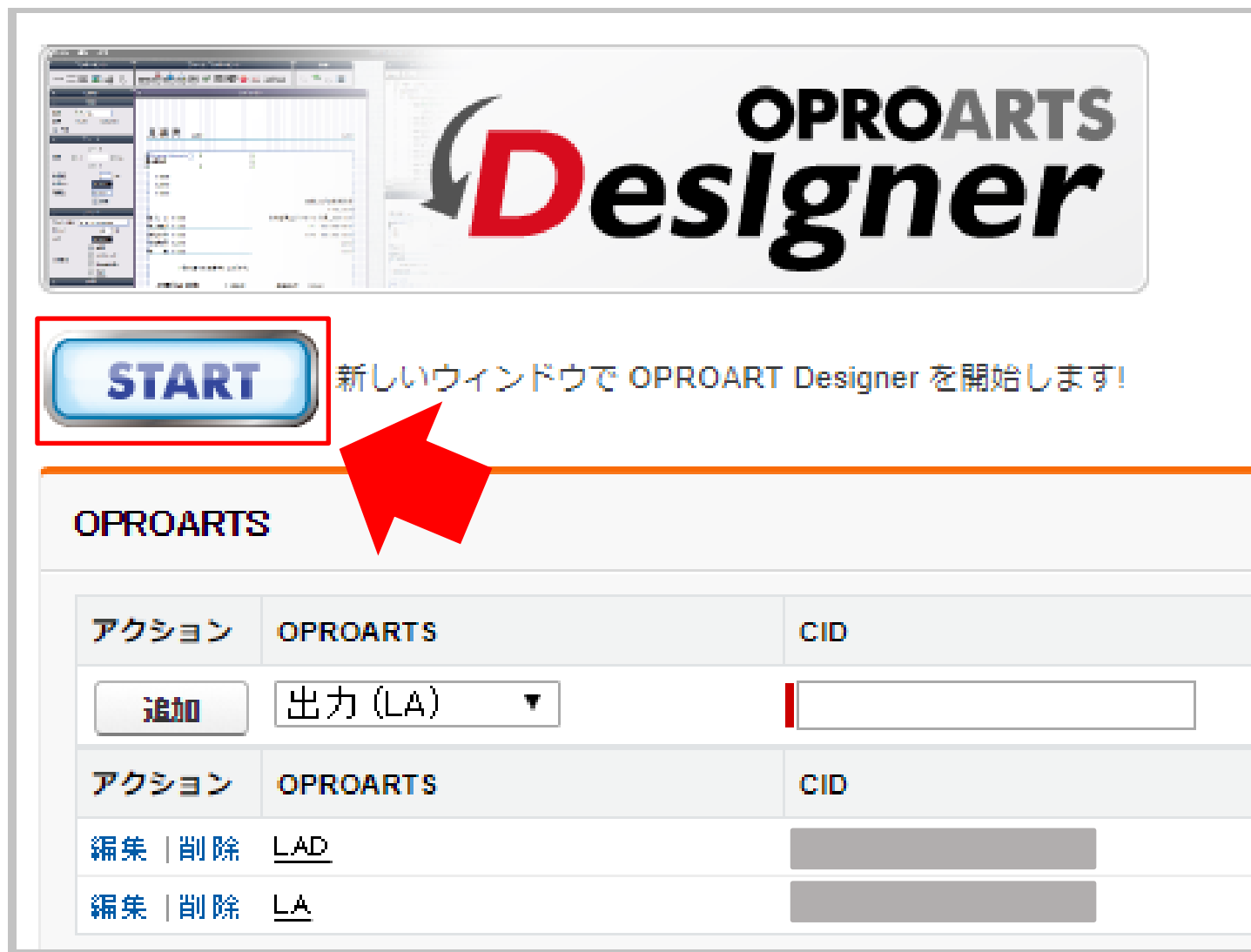
STEP4 出力アクションの作成

Salesforce上でアクションの作成、設置をします。

STEP1 レイアウトの作成



1 [START]ボタンをクリックして、OPROARTS Designerにログインします。



OPROARTS Designer

START 新しいウィンドウで OPROART Designer を開始します!

OPROARTS

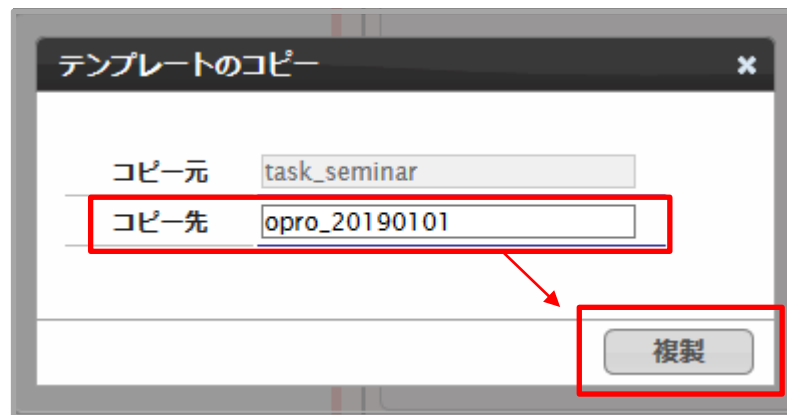
アクション	OPROARTS	CID
<input type="button" value="追加"/>	出力 (LA) ▼	<input type="text"/>
編集 削除	<u>LAD</u>	<input type="text"/>
編集 削除	<u>LA</u>	<input type="text"/>

2 「task_seminar」テンプレートをコピーして名前を変更します。



① 「task_seminar」テンプレートにチェックを入れます。

② [コピー]を選択します。



③ 「コピー先」の名前を「お名前_本日の日付」にします。

<例>

opro_20190101

④ [複製] をクリックします。

3 [編集]をクリックしてデザイナー画面を開きます。

名前	opro_20190101	
タイプ	Live for Salesforce	
作成日時	2019/06/03 18:12:43	
更新日時		
配備状況	未配備	<input type="button" value="配備解除"/> <input type="button" value="配備"/>
メモ	<input type="text"/>	<input type="button" value="保存"/>

🔍

見積書

取引先

商品名

金額

数量

[Band]



コンポーネント

操作

Layout

全図

名前: opro_20190101

グリッド: 無 10 20

グリッドスナップ

背景色: FFFFFFFF

レイアウト

用紙サイズ: A4

単位: mm

高さ: 297

幅: 210

方向: 縦 横

テンプレート

PDFの印刷方法

ページサイズ: 指定しない

フォントの扱い

字形: JIS2004

固定ピッチフォントの幅: 標準

ドキュメント描画

描画方法: 最新の描画方法

セキュリティ

セキュリティを有効にする

操作の許可

文書の印刷

低解像度のみ

内容のコピーと抽出

アクセシビリティ用のみ

動作の強制

閉じたときに文書を削除 (OPR/OXR)

パスワード

マスタ: 表示

ユーザ: 静的 動的 表示

レイアウト

取引先

(総計)

見積書

(日付)

総計 ¥

(取引先名)

(商品名)

(金額)

(数量)

[Band]

4 レイアウトの完成図



5 ショートカットキーの説明

[] で囲まれた文字は、キーボードのキーを表します。

操作	説明
[Ctrl] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントを 1px ずつ移動
[Ctrl] + [Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントをグリッドの間隔単位で移動
[Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントのサイズを変更
[Ctrl] + 選択	コンポーネントを複数選択する(※)

(※) 違う種類のコンポーネントまたは他のコンポーネントに内包されたコンポーネント(Reportheader 上のLabelとReportfooter上のLabelなど) は選択できません。

■ Bandの高さを変更する方法



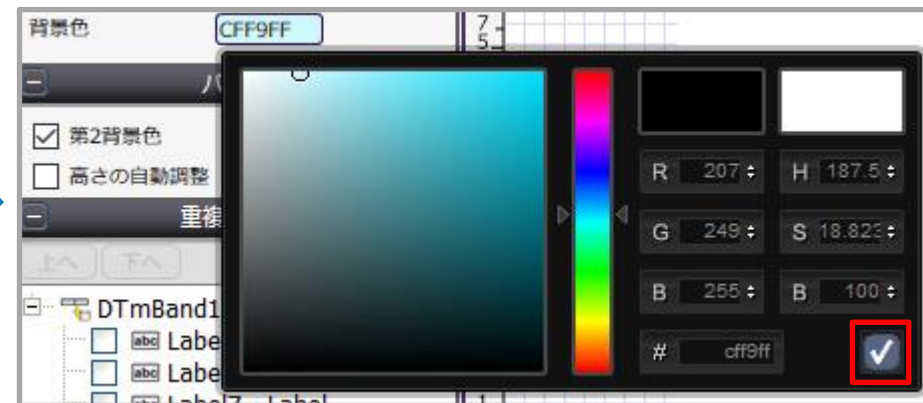
- ① [Band]を選択します。
- ② 任意の高さに設定します。
＜例＞ 30

■ カラーの変更方法



お好きな色をご選択
いただき、右下の
チェックをクリック
します。

- ① [Band]を選択します。
- ② 「背景色」の色をクリックします。
- ③ ②と同様に「第2背景色」を選択します。



6 保存して、マッピング画面に移動します。

コンポーネント

操作

② マッピング画面へ

① 保存

レイアウト

全般

名前 Seminar Intermed

グリッド 無 10 20

グリッドスナップ

背景色 FFFFFFFF

レイアウト

用紙サイズ A4

単位 mm

高さ 297

幅 210

方向 縦 横

テンプレート

PDFの印刷方法

ページサイズ 指定しない

フォントの扱い

字形 JIS2004

固定ピッチフォントの幅 標準

ドキュメント描画

描画方法 最新の描画方法

セキュリティ

セキュリティを有効にする

操作の許可

文書の印刷

低解像度のみ

見積書

取引先 (取引先名)

総合計 (総合計)

商品名 数量 金額

STEP2 マッピング



1 [1st] Salesforce組織へログインします。

The screenshot shows a web interface for logging into Salesforce. On the right is a sidebar titled "Salesforce.com" with the following options:

- 現在のログイン状態を引き継ぐ
- 新たにログインする
- アプリケーション: OPROARTS Connector (dropdown menu)
- Sandbox へ接続する
- Login button

The main content area is titled "Salesforce.com へログインします" and contains the following sections:

- ログイン**

組織のオブジェクト定義を参照するために Salesforce.com にログインします。ログインするユーザの権限によって、参照可能なオブジェクト定義が異なる場合があります。参照されたオブジェクトは、以降のステップで帳票テンプレートとのマッピング定義の作成に利用されます。

権限について
帳票作成時、マッピング定義に基づき実行ユーザの権限でオブジェクトより値が取得されます。実行ユーザの権限を考慮してログインする事をお勧めします。
- + 現在のセッション** 現在の Salesforce.com のセッションを引き継いでログイン
- + OAuth** OAuth を使って Salesforce.com から認証を受けます。
- デザインビュー**

デザイナー画面で作成した帳票テンプレートのイメージが表示されます。表示メニューよりイメージの表示倍率を指定できます。また、ウィンドウをリサイズして任意の倍率で表示する事も可能です。
- + ハイライト表示** 現在のステップの操作で対象となるコンポーネントが

2 [2nd] 使用するトップレベルオブジェクトを指定します。 ここでは商談オブジェクトを指定しています。

ファイル 表示

1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 完了

帳票で使用するオブジェクトを選択します

- オブジェクトの選択

OPROARTS Live では、Salesforce.com のトップレベルオブジェクトの内容(「フィールド」「参照関係にあるオブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」)を帳票に動的に埋め込むことができます。

このステップでは、使用するトップレベルオブジェクトを決定します。

- オブジェクトツリー

Salesforce.com 上の組織のオブジェクト一覧がツリー表示されます。帳票テンプレートとのマッピングで使用するオブジェクトを選択してください。

+ ツリー表示 1st ステップでログインしたユーザの権限で参照

- デザインビュー

デザイナー画面で作成した帳票テンプレートのイメージが表示されます。表示

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

- メモ
- メモと添付ファイル
- OPROARTSユーザ
- OPROARTS
- 活動予定
- 商談**
- 商談: 競合
- 取引先責任者の役割
- 商談フィード
- 商談項目履歴
- 商談履歴
- 商談商品
- 商談パートナー
- 商談の共有
- 商談フェーズ
- 組織の送信元メールアドレス
- 組織
- パートナー
- パートナー役割値

3 [3rd]明細に使用する子オブジェクトを指定します。 ここでは「OpportunityLineItems」を指定しています。

The screenshot displays the Salesforce configuration interface for a detail view. The top navigation bar includes 'ファイル' and '表示'. Below it, a series of tabs labeled '1st', '2nd', '3rd', '4th', '5th', '6th', and '完了' are shown, with '3rd' selected. The main content area is titled '明細部で使用する子オブジェクトを選択します' (Select child objects to use in the detail section). It contains two sections: '明細オブジェクトの選択' (Select detail objects) and 'オブジェクトツリー' (Object tree). The 'オブジェクトツリー' section includes a '+ ツリー表示' button and a label '2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係' (Relationship with object selected in 2nd step). On the right, a 'Salesforce.com' window shows a list of objects under the '表示ラベル' (Display label) radio button. The 'OpportunityLineItems' object is highlighted with a red box, indicating it is the selected child object.

ファイル 表示

1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 完了

明細部で使用する子オブジェクトを選択します

- 明細オブジェクトの選択

OPRPOARTS Live では、トップレベルオブジェクトの子オブジェクトの内容(「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」)を、明細として帳票に動的に埋め込むことができます。

このステップでは、明細部で使用する 1st ステップで選択されたトップレベルオブジェクトの子オブジェクトを選択します。

- オブジェクトツリー

2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が定義されている子オブジェクト一覧がツリー表示されます。帳票テンプレートの明細部で使用する子オブジェクトを選択してください。

+ ツリー表示 2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係

- 明細部

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

- ActivityHistories
- Attachments
- FeedSubscriptionsForEntity
- Events
- Notes
- NotesAndAttachments
- OpenActivities
- OpportunityCompetitors
- OpportunityContactRoles
- Feeds
- Histories
- OpportunityHistories
- OpportunityLineItems**
- OpportunityPartnersFrom
- Shares
- Partners
- ProcessInstances
- ProcessSteps
- Tasks

4 [4th]明細データの表示順や抽出条件を指定します。 今回は指定しませんので、[次へ]で進みます。

1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 完了

明細オブジェクトの詳細を設定します。

明細オブジェクトの詳細

OPROARTS Liveでは、明細オブジェクト(3rd ステップで選択されたトップレベルの子オブジェクト)のレコードに基づいて、帳票内の繰り返し出力が行われます。繰り返し出力の内容を制限したい場合は「抽出条件」を、繰り返し出力の並び順を指定したい場合は「並べ替え」を指定してください。

並べ替え
「並べ替え」が無指定の場合、繰り返し出力の並び順は不定となります。「並べ替え」を指定することをお勧めします。

オブジェクトツリー

3rd ステップで選択された子オブジェクトの内容(「子オブジェクトのフィールド」「子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」)、抽出条件指定エリア、並べ替え指定エリアが表示されます。

+ ツリー表示 3rd ステップで選択された子オブジェクトの内容(「子

+ 抽出条件 繰り返し出力の内容を制限したい場合、チェックボッ

+ 並べ替え 繰り返し出力の並び順を指定したい場合、チェックボッ

デザインビュー

デザイン画面で作成した帳票テンプレートのイメージが表示されます。表示メニューよりイメージの表示倍率を指定できます。また、ウィンドウをリサイズして任意の倍率で表示する事も可能です。

+ ハイライト表示 現在のステップの操作で対象となるコンポーネントが!

抽出条件

並べ替え

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

商談

明細オブジェクト

品目名 ID

商談 ID (Opportunity)

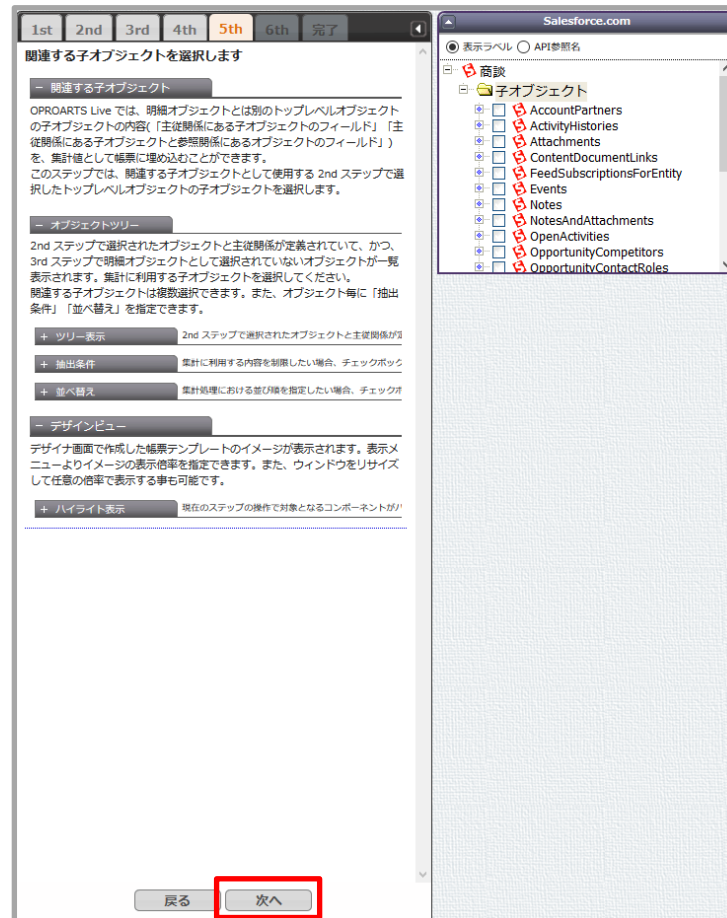
並び替え順

価格表エントリ ID (PricebookEntry)

数量

戻る 次へ

- 5 [5th]関連リストの指定をします。
明細以外の子オブジェクトの選択、抽出条件、並び順の指定が可能です。
今回は指定しませんので、[次へ]で進みます。



6 [6th]マッピングします。

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, a tree view of Salesforce fields is shown, with '取引先名' (Account Name) selected and circled in red with a '2'. A red arrow points from this field to the 'データ' (Data) field in the mapping table, which is circled in red with a '3'. The mapping table has columns for Component, Type, Style, Data, and Format. The first row is highlighted in yellow and circled in red with a '1', showing 'AccountName' mapped to 'Opportunity.AccountName'. Below the table, a dialog box shows the 'データ' field with the value 'Opportunity.AccountName || ' 御中'' and a '適用' (Apply) button circled in red with a '4'. A 'マッピングの検証' (Validate Mapping) button is at the bottom.

コンポーネント	タイプ	スタイル	データ	フォーマット
AccountName	Label		Opportunity.AccountName	
OpportunityName	Label		Opportunity.Name	
OrganizationName	Label		\$User.CompanyName	
OrganizationPostalCode	Label		'〒' \$User.PostalCode	
OrganizationAddress	Label		\$User.State \$User.City	
OrganizationAddress2	Label		\$User.Street	
CreatedUserPhoneNumber	Label		'Tel' \$User.Phone	

<基本操作>

- ① Labelを選択します。
- ② Salesforceの項目を③「データ」にドラッグ&ドロップします。
- ④ [適用]をクリックします。

■ マッピングする項目一覧

<非明細部> 参照フィールド

項目	Salesforce項目名
取引先名	取引先ID(Account)>取引先名

<明細部> 明細オブジェクト

項目	Salesforce項目名
商品名	価格表エントリID(PricebookEntry)>商品名
数量	数量
金額	合計金額

■ 詳細設定 1. 取引先名に「御中」をつける方法

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping configuration interface. On the left, there are navigation panels for '表示ラベル / API参照名' and 'フォーマット'. The main area is titled 'フィールド マッピング' and contains a table with columns: 'コンポーネント', 'タイプ', 'スタイル', and 'データ'. The table lists several labels and their corresponding data sources. Below the table is a '編集' (Edit) section with fields for 'データ', 'フォーマット', and '条件'. The 'データ' field contains the formula 'Opportunity.Account.Name || '御中'', which is highlighted with a red box. A red arrow points from the '||' operator in the formula to the '演算子' (Operators) panel at the bottom left. In this panel, the '||' operator is circled in red. The '式' (Formula) panel also contains instructions in Japanese about using expressions and operators.

コンポーネント	タイプ	スタイル	データ
Label4	Label		Opportunity.Account.Name '御中'
Label5	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name
Label7	Label		'¥' FORMAT_NUMBER(OpportunityLineItems...
Label6	Label		OpportunityLineItems.Quantity
Label10	Label		SUM(OpportunityLineItems.TotalPrice)
Label3	Label		TODAY()

編集

データ: Opportunity.Account.Name || '御中'

フォーマット:

条件:

適用

マッピングの検証

式

演算子

- AND
- OR
- NOT
- =
- !=
- >
- <
- >=
- <=
- +
-
- *
- /
- ||

式

エクスプレッション

OPROARTS Live で使える式(エクスプレッション)が表示されています。ここに表示されている演算子や関数を使って、フィールド式編集エリアでフィールド式を作成してください。

※ ツリーからフィールド式編集エリアへドラッグアンドドロップする事で、入力することもできます。

「式」の「演算子」を使用します。

「||」と「'」を「データ」にドラッグ&ドロップします。

(直接手入力も可能です。)

<例>

Opportunity.Account.Name || '御中'

■ 詳細設定 2. 数値の形式を変える方法

The image shows the Salesforce Field Mapping and Formula Editor interface. The top part shows a table of field mappings, with Label7 selected. The bottom part shows the formula editor with the formula `'¥' || FORMAT_NUMBER(OpportunityLineItems.TotalPrice, '#,##0')` entered. A red box highlights the formula, and a red arrow points to the `FORMAT_NUMBER` function in the formula editor's function list.

コンポーネント	タイプ	スタイル	データ
Label4	Label		Opportunity.Account.Name '御中'
Label5	Label		OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name
Label7	Label		'¥' FORMAT_NUMBER(OpportunityLineItems.TotalPrice, '#,##0')
Label6	Label		OpportunityLineItems.Quantity
Label10	Label		SUM(OpportunityLineItems.TotalPrice)
Label3	Label		TODAY()

編集

データ: `'¥' || FORMAT_NUMBER(OpportunityLineItems.TotalPrice, '#,##0')`

フォーマット:

条件:

適用

マッピングの検証

式

演算子

文字列操作関数

数値操作関数

- `f_x ISNUMBER()`
- `f_x CEILING()`
- `f_x FLOOR()`
- `f_x ROUND()`
- `f_x ROUNDEVEN()`
- `f_x ABS()`
- `f_x SIGN()`
- `f_x MOD()`
- `f_x POWER()`
- `f_x SQRT()`
- `f_x EXP()`
- `f_x LN()`
- `f_x LOG()`
- `f_x TO_NUMBER()`
- `f_x FORMAT_NUMBER()`

日付操作関数

条件関数

システム関数

エクスプレッション

OPROARTS Live で使える式(エクスプレッション)が表示されています。ここに表示されている演算子や関数を使って、フィールド式編集エリアでフィールド式を作成してください。

※ ツリーからフィールド式編集エリアへドラッグアンドドロップする事で、入力することもできます。

「式」の「数値操作関数」を使用します。

+ 「¥」を文字列結合させています。

<例>

`'¥' || FORMAT_NUMBER(OpportunityLineItems.TotalPrice, '#,##0')`

■ 詳細設定 3. 数値のフォーマットを指定する方法

「フォーマット」の「数値の形式」を使用します。

The screenshot displays the Salesforce.com interface with the 'Format' dialog box open. The 'Format' dialog is set to 'Number Format' and shows a list of options. The option '#,##0' is selected and circled in red. A red arrow points from this selection to the 'Format' field in the 'Edit' dialog, which also contains '#,##0' and is circled in red. The 'Edit' dialog shows the data source as 'OpportunityLineItems.Quantity'.

コンポーネント	タイプ	スタイル
Label4	Label	
Label5	Label	
Label7	Label	
Label6	Label	
Label10	Label	
Label3	Label	

編集

データ: OpportunityLineItems.Quantity

フォーマット: #,##0

条件:

■ 詳細設定 4. 総合計を帳票に表示させる方法

- ① 「合計金額」項目を「データ」にドラッグ&ドロップします。
- ② 「集計関数」が選択できるようになるため、「SUM」を選択して[OK]をクリックします。

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'Salesforce.com' pane shows a list of fields under '表示ラベル' (Display Label). The '合計金額' (Total Amount) field is circled in red. Below it, the 'フォーマット' (Format) pane shows various numerical and date-time formats. The main 'フィールド マッピング' (Field Mapping) pane is titled '集計関数' (Summary Function). It contains the text '集計が必要なマッピングです。集計関数を選択してください。' (This is a mapping that requires summarization. Please select a summary function.) and a list of functions: SUM (selected and circled in red), COUNT, AVG, MAX, MIN, TOP, BOTTOM, SUMIF, COUNTIF, AVGIF, MAXIF, MINIF, TOPIF, and BOTTOMIF. Below the functions, the formula 'SUM(OpportunityLineItems.TotalPrice)' is displayed. A red dashed box highlights the 'OK' button. At the bottom right, a 'マッピングの検証' (Verify Mapping) dialog box is shown, with the '適用' (Apply) button circled in red. A blue arrow points from the '適用' button to the text below.

[適用]を忘れないよう
ご注意ください。

■ 詳細設定 5. 日付のフォーマットを指定する方法

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

- 商談
 - 参照フィールド
 - 明細オブジェクト
 - 関連オブジェクト
 - ユーザ情報

コンポーネント	タイプ	スタイル
Label4	Label	
Label5	Label	
Label7	Label	
Label6	Label	
Label10	Label	
Label3	Label	

編集

データ: TODAY()

フォーマット: NNNNJ'年'M'月'd'日'

条件:

フォーマット

- 数値の形式
 - 0
 - 0.00
 - ###
 - #,##0
 - #,##0.00
 - #,##0.00;(#,##0.00)
- 日付時刻の形式
 - yyyy/MM/dd

式

演算子

文字列操作関数

数値操作関数

日付操作関数

条件関数

システム関数

- f NOW()
- f_x TODAY()

エクスプレッション

OPROARTS Live で使える式(エクスプレッション)が表示されています。

ここに表示されている演算子や関数を使って、フィールド式編集エリアでフィールド式を作成してください。

※ ツリーからフィールド式編集エリアへドラッグアンドドロップする事で、入力することもできます。

「式」の「システム関数」を使用します。

TODAY()

日付は「フォーマット」の「日付操作関数」を使用します。

今回は、直接手入力します。

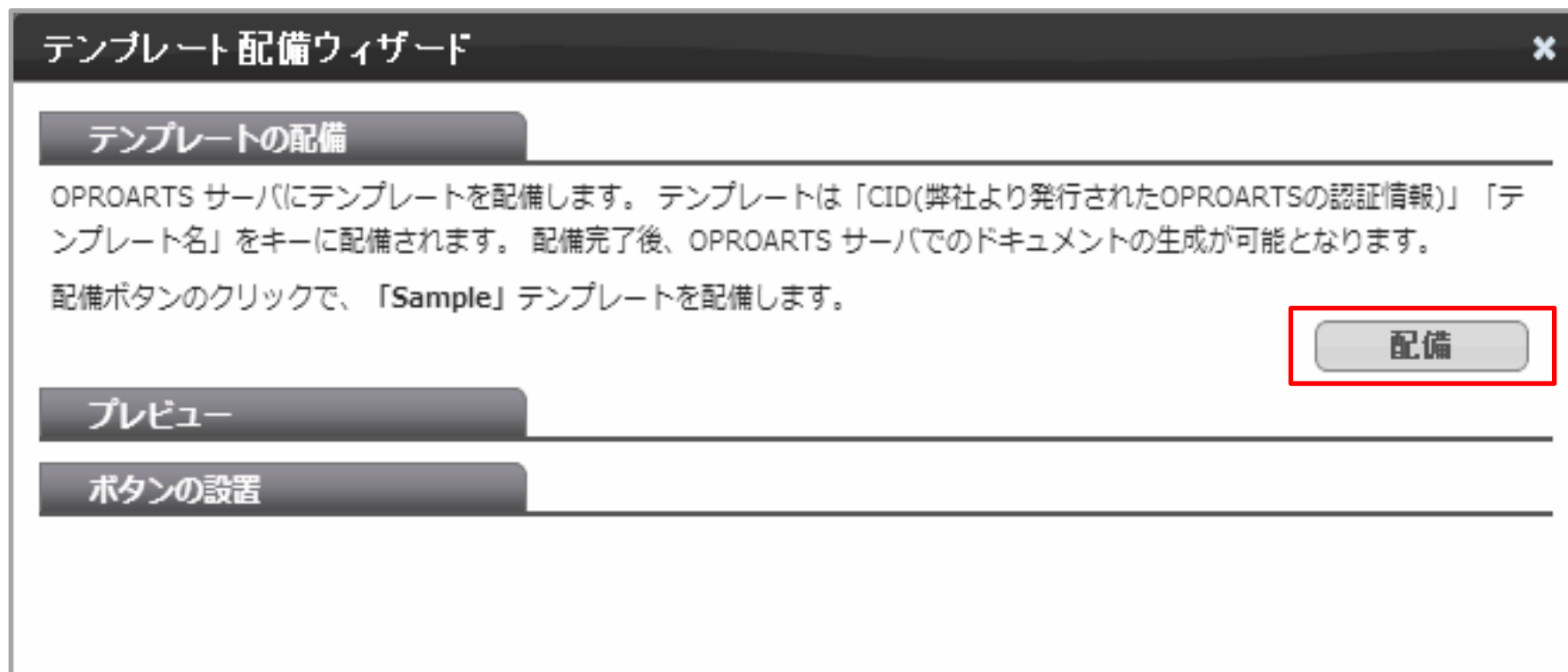
<例>

NNNNJ'年'M'月'd'日'

STEP3 配備



1 テンプレート配備ウィザードの[配備]ボタンをクリックします。



STEP4 アクションの作成



- 1** テンプレート配備ウィザードの「出力アクションの作成」で[生成]ボタンをクリックします。
※サンプルテンプレートは商談情報をマッピングしているので、商談に出力アクションを設置します。

出力アクションの作成

カスタムボタンが表示されない環境向けに、アクションを作成することも可能です。
「生成ボタン」をクリックして「Visualforceページソース」を作成してください。
「Visualforceページソース」は以下の手順で「詳細ページ」または「リストビュー」に設置できます。

1. Salesforceの[設定] -> [カスタムコード] -> [Visualforceページ]を開き、新規作成をする。
2. 「Visualforceページソース」を貼り付け後、以下のように編集し、保存する。
 - 2-1. 最初の「// ---- BEGIN ----」までの行を削除する。
 - 2-2. 最後の「// ---- END ----」の行を削除する。
 - 2-3. 以下の「Opportunity」を、テンプレートの主オブジェクト(2ndで選んだオブジェクト)のAPI参照名にする。
 - ・ <apex:page>タグの「standardController」属性の「Opportunity」

※「詳細ページ」を選択した場合、以下のパラメータも編集が必要。
・ 「objectId」パラメータの「Opportunity」

3. 出力対象のオブジェクトの設定にある「ボタン、リンク、およびアクション」で新規アクションを作成する。
 - 3-1. アクション種別: カスタム Visualforce
 - 3-2. Visualforceページ: 2. で作成したページ
4. 出力対象のオブジェクトのレイアウトを編集して、3. で作成したアクションを「Salesforce1 および Lightning Experience アクション」に追加する。

ドキュメントの形式
出力するドキュメントの形式: PDF

ドキュメントの添付
生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

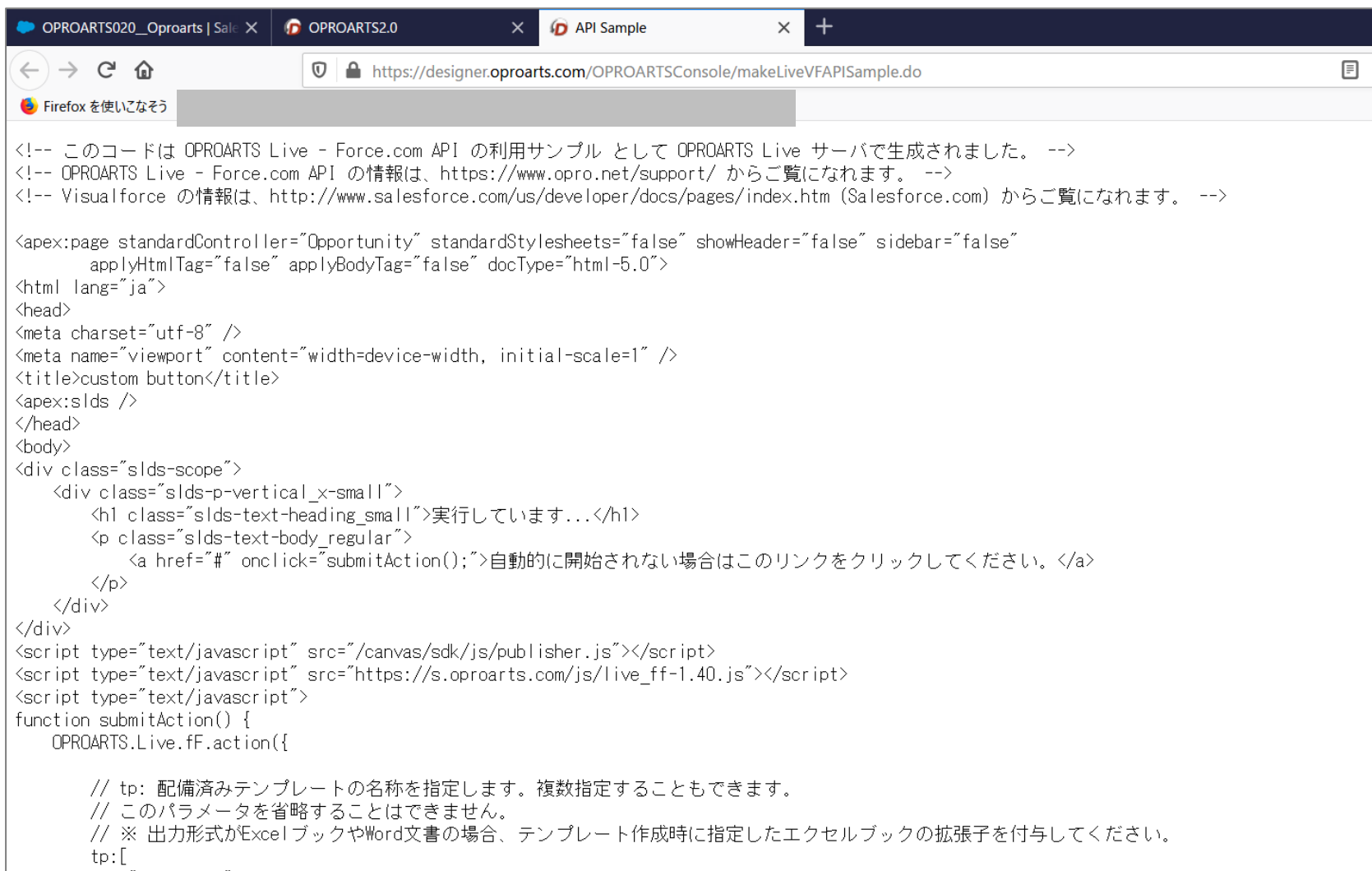
活動履歴の登録
生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名
ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所
ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

生成

2 表示されたソースを全選択してコピーします。



```
<!-- このコードは OPROARTS Live - Force.com API の利用サンプル として OPROARTS Live サーバで生成されました。 -->
<!-- OPROARTS Live - Force.com API の情報は、https://www.opro.net/support/ からご覧になれます。 -->
<!-- Visualforce の情報は、http://www.salesforce.com/us/developer/docs/pages/index.htm (Salesforce.com) からご覧になれます。 -->

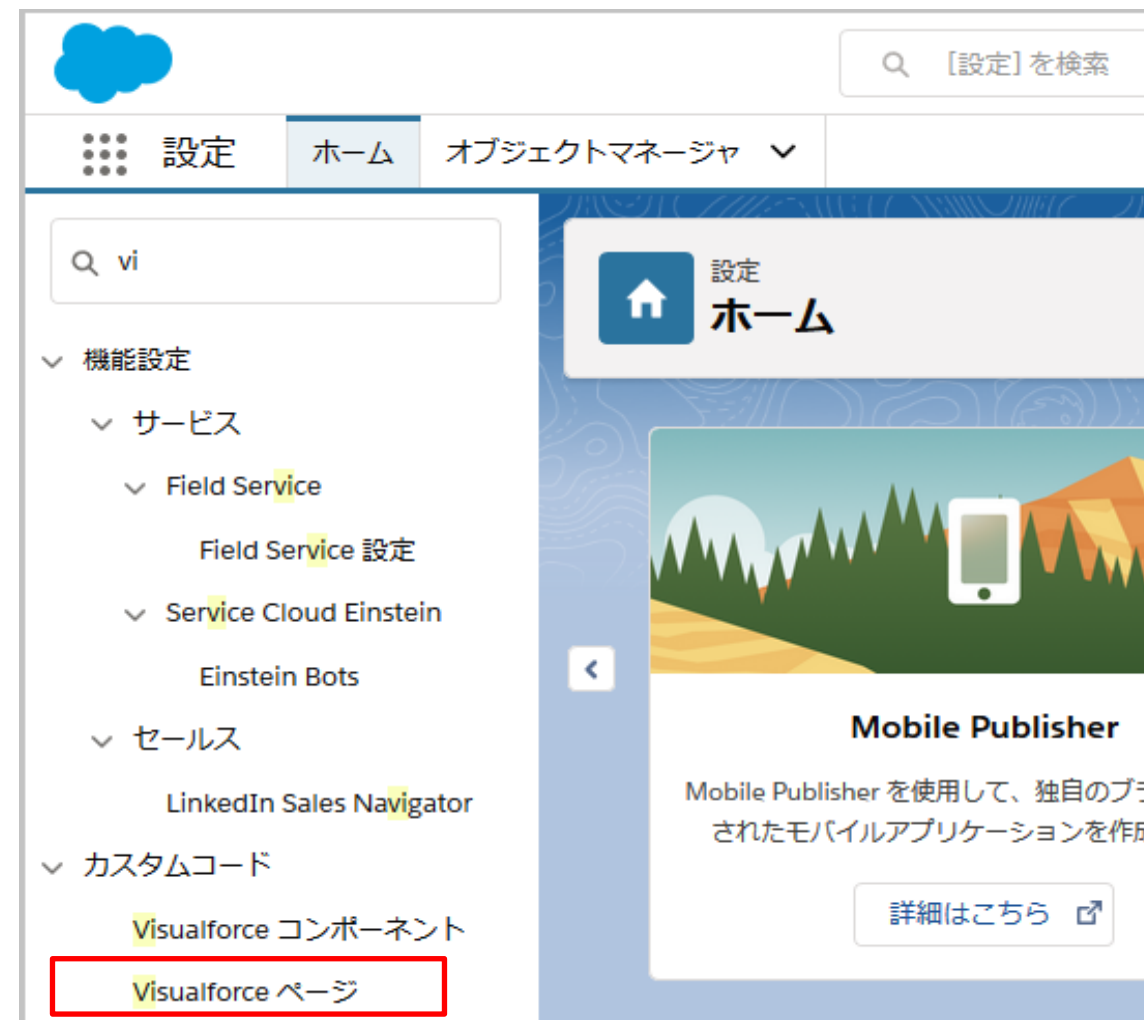
<apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false" showHeader="false" sidebar="false"
  applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>custom button</title>
<apex:slds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
  <div class="slds-p-vertical_x-small">
    <h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
    <p class="slds-text-body_regular">
      <a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
    </p>
  </div>
</div>
</div>
<script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
<script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/js/live_ff-1.40.js"></script>
<script type="text/javascript">
function submitAction() {
  OPROARTS.Live.fF.action({

    // tp: 配備済みテンプレートの名称を指定します。複数指定することもできます。
    // このパラメータを省略することはできません。
    // ※ 出力形式がExcelブックやWord文書の場合、テンプレート作成時に指定したエクセルブックの拡張子を付与してください。
    tp: [
      "PROARTS_LIVE"
```

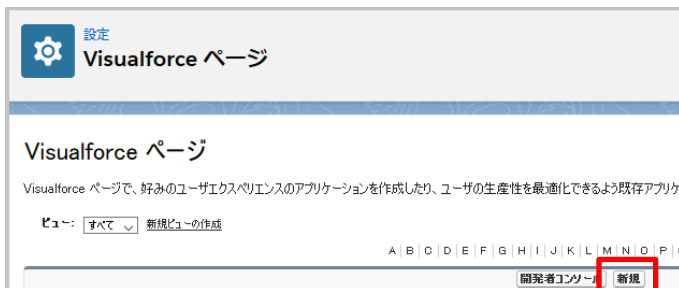
3 設定>カスタムコード>Visualforceページを選択します。



設定画面の左側にある
クイック検索で「vi」と検索
すると見つけやすいです。



4 [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



Visualforce ページ

ページの編集 保存 適用 キャンセル 使用場所 コンポーネントの参照 プレビュー

ページ情報

表示ラベル

名前

説明

Lightning Experience、Lightning コミュニティ、およびモバイルアプリケーションで利用可能

GET 要求の CSRF 保護が必要

Visualforce Markup Version Settings

```
1
2
3 // これは、OPROARTS Live サーバで生成された OPROARTS Live - Force.com API の利用サンプルです。
4 //
5 // OPROARTS Live - Force.com API の情報は、https://www2.opro.net/jp_arts/support.html からご覧になれます。
6 // Visualforce の情報は、http://www.salesforce.com/us/developer/docs/pages/index.htm (Salesforce.com) からご覧になれます。
7
8
9 // ---- BEGIN ----
10 <apex:page showHeader="false" sidebar="false" standardStylesheets="false" standardController="Opportunity">
11
12     <apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/js/jquery-1.12.4.min.js" />
13     <apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/js/live_ff-1.32.js" />
14
15     <script type="text/javascript">
16         $(document).ready(function() {
```

表示ラベル

入力例：見積

名前

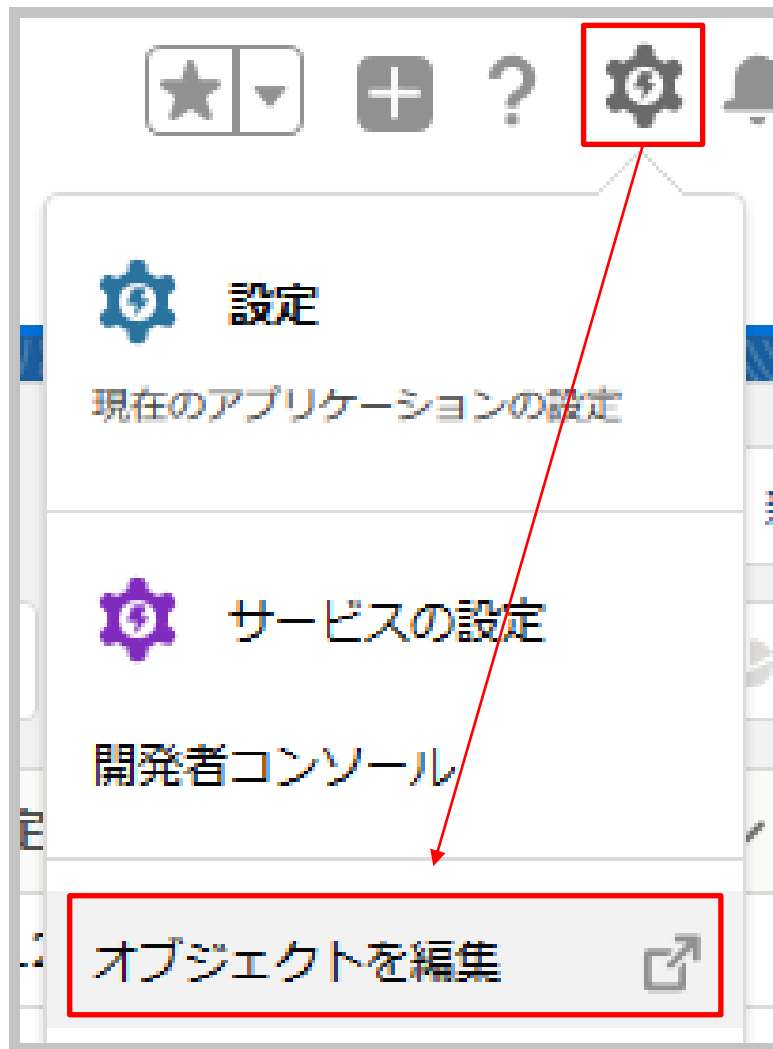
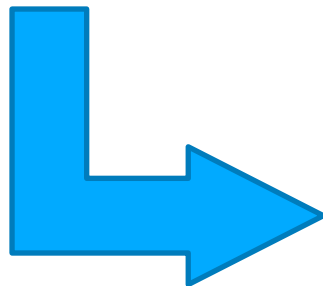
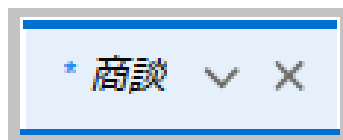
入力例：mitumori

・「Lightning Experience～」に
チェックを入れます。

内容

2 でコピーした内容を貼り付ける

5 アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



6 [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ
商談

詳細
項目とリレーション
ページレイアウト
Lightning レコードページ
ボタン、リンク、およびアクション
コンパクトレイアウト
項目セット

ボタン、リンク、およびアクション

46 件の項目 (表示ラベル順)

クイック検索

新規アクション 新規ボタンまたはリンク

表示ラベル	名前	説明	型	内容のソース	上書き
Delivery Status	DeliveryStatus		詳細ページリンク	URL	▼
					▼
list	listview		リストボタン	OnClick JavaScript	▼
					▼

7 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力 保存 キャンセル

オブジェクト名	商談 i
アクション種別	カスタム Visualforce v
Visualforce ページ	見積 [mitumori] v
高さ	250 ピクセル i
標準の表示ラベル種別	--なし-- i
表示ラベル	<input type="text"/>
名前	<input type="text"/> i
説明	<input type="text"/> i
アイコン	 アイコン変更

保存 キャンセル

アクション種別

カスタム Visualforce を指定

Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

高さ

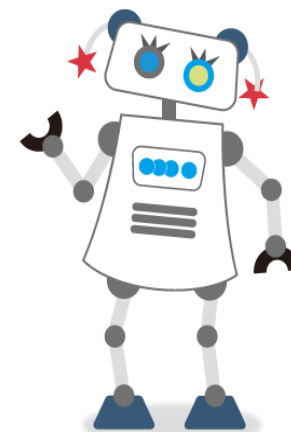
変更なし

表示ラベル

入力例：見積書発行

名前

入力例：Quotation



8 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。

商談 アクション
見積書発行

アクションの詳細 編集 削除

表示ラベル	見積書発行	オブジェクト名	商談
標準の表示ラベル種別		アクション種別	カスタム Visualforce
名前	Quotation	アイコン	

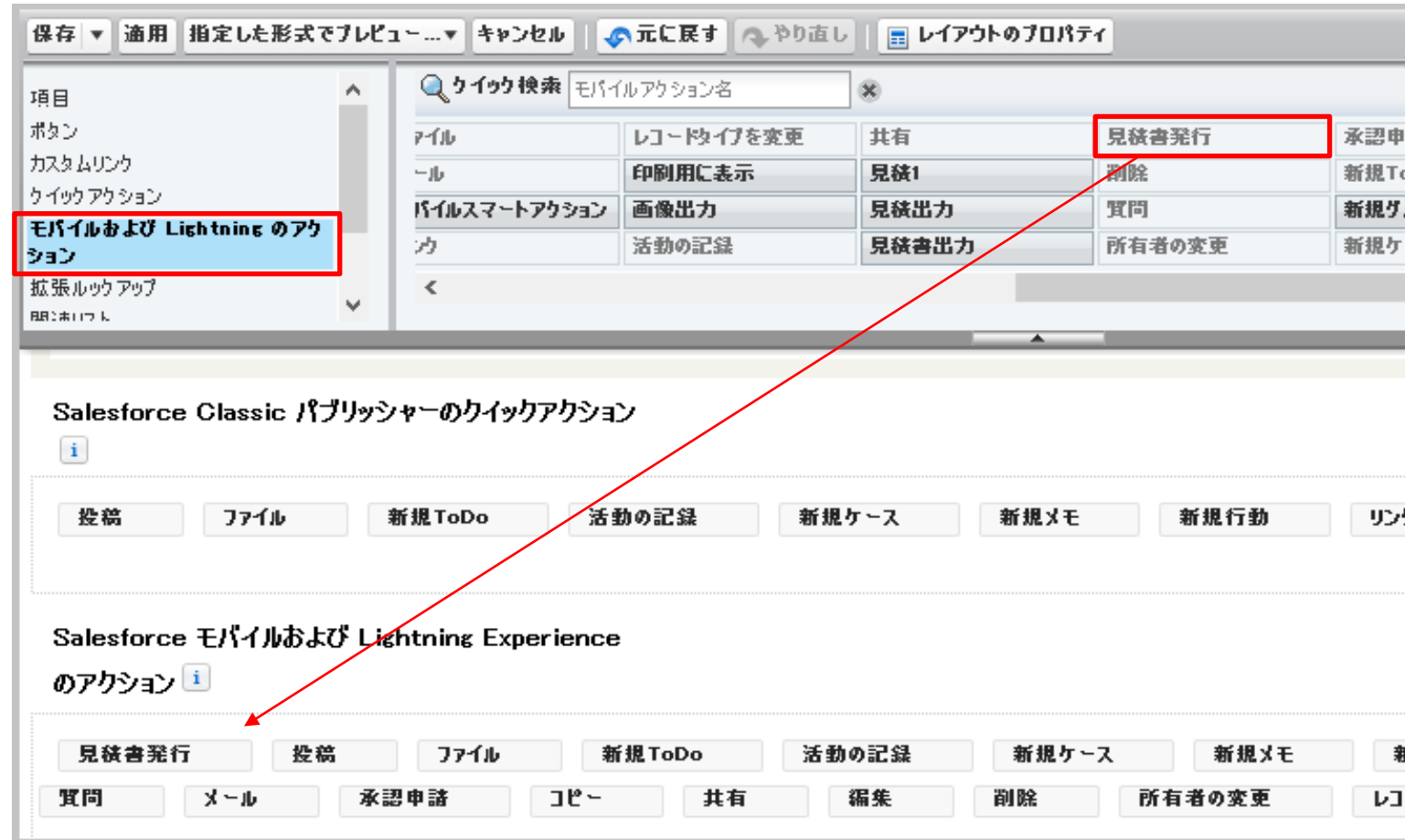
設定 > オブジェクトマネージャ
商談

ページレイアウト
4件の項目 (ページレイアウト名順)

ページレイアウト名

- Opportunity Layout
- Opportunity (Marketing) Layout
- Opportunity (Sales) Layout
- Opportunity (Support) Layout

- 9 レイアウト編集画面の「モバイルおよびLightningのアクション」メニューをクリックし、8 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



10 [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。

保存 ▼ 適用 指定した形式でプレビュー... ▼ キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

項目
ボタン
カスタムリンク
クイックアクション
モバイルおよび Lightning のアクション
拡張ルックアップ
APIの呼び出し

クイック検索 モバイルアクション名

ファイル	レコードタイプを変更	共有	見込書発行	承認申請
ルール	印刷用に表示	見込1	削除	新規作成
モバイルスマートアクション	画像出力	見込出力	質問	新規グループ
ワーク	活動の記録	見込書出力	所有者の変更	新規ユーザー

11 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認し、クリックして出力を試します。

商談 オプロストア

+ フォローする 見積書発行

取引先名	完了予定日	金額	商談所有者
株式会社○○○	2018/12/28	¥2,532,500	

✓ ✓ ✓ ✓ ✓ Proposal/Pri... Negotiation/... クローズ

活動 Chatter 詳細

新規ToDo 活動の記録 新規行動 メール

ToDo を作成... 追加

商品 (3+)

イス
商品カテゴリー:
チェック:
数量:

テーブル
商品カテゴリー:

<出カイメージ>

見積書			令和元年6月3日
取引先：株式会社ABCネットワークス御中			
総合計 ￥364,000			
HDD 1TB	1	￥3,000	
HDD 2TB	1	￥5,000	
ノートPC	2	￥356,000	

トライアルのご紹介

～各製品1か月間トライアルできます。ぜひお試しください～

OPRO

製品 ソリューション イベント&セミナー サポート **トライアル** 事例 資料 🔍 会社情報 採用情報 お問い合わせ EN

HOME > トライアルライセンスのお申し込み

トライアルライセンスのお申し込み

オプロが提供する各サービスのトライアルをお申しいただけます。

▼ クラウドサービス ▼ ソフトウェア

クラウドサービス

ドキュメントフレームワーク
OPROARTS

OPRO ARTS

申し込み

OPROARTS 製品情報 >

モバイルフォームソリューション
AppsME

ME
AppsME

申し込み

AppsME 製品情報 >

ドキュメントポータル
docutize

dc
docutize

申し込み

docutize 製品情報 >

クラウドERP(販売・購買・工数管理)
soarize

sa
soarize

申し込み

soarize 製品情報 >

チャットで質問



資料集

□ドキュメント一覧

[\[Connector/ViewFramer\]ドキュメント一覧\(Salesforce\)](#)

□参考FAQ

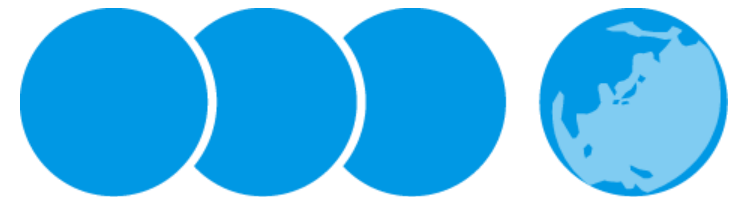
[明細のある帳票を作成したい \(Dataset Tableについて\)](#)

[OPR形式で出力する方法](#)

[参照関係項目のマッピングについて\(Connector for Salesforce\)](#)

★サポートユーザ(サポートサイトへのログインユーザ)
の登録がお済でない方は[こちら](#)

ありがとうございました。



Less is More.